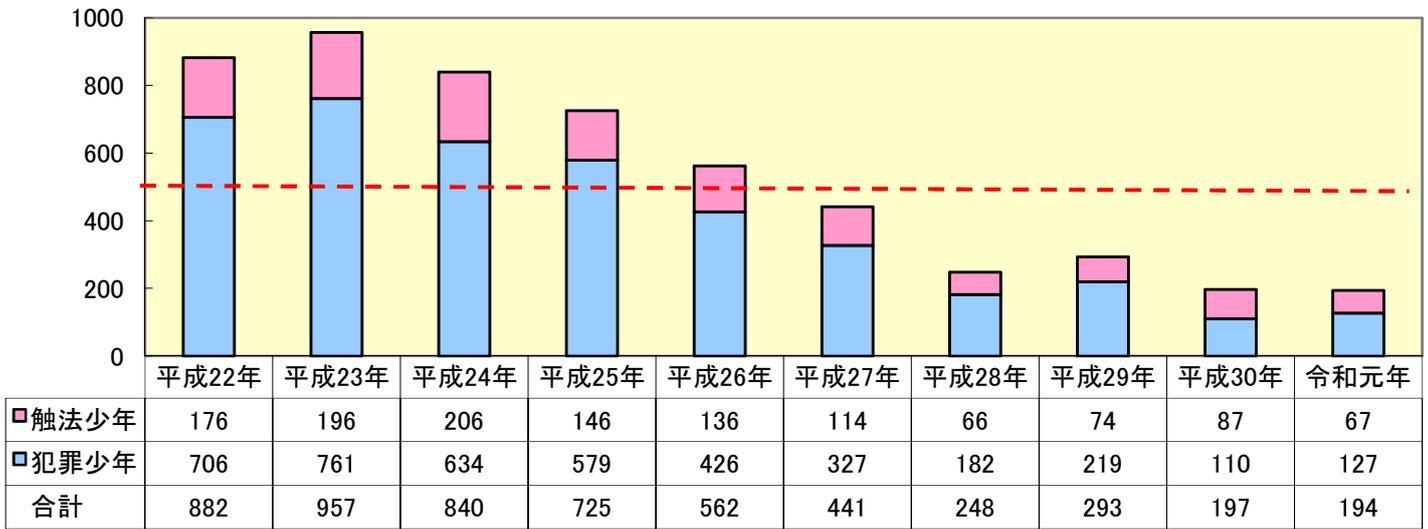


県内における少年非行の概要(令和元年中)

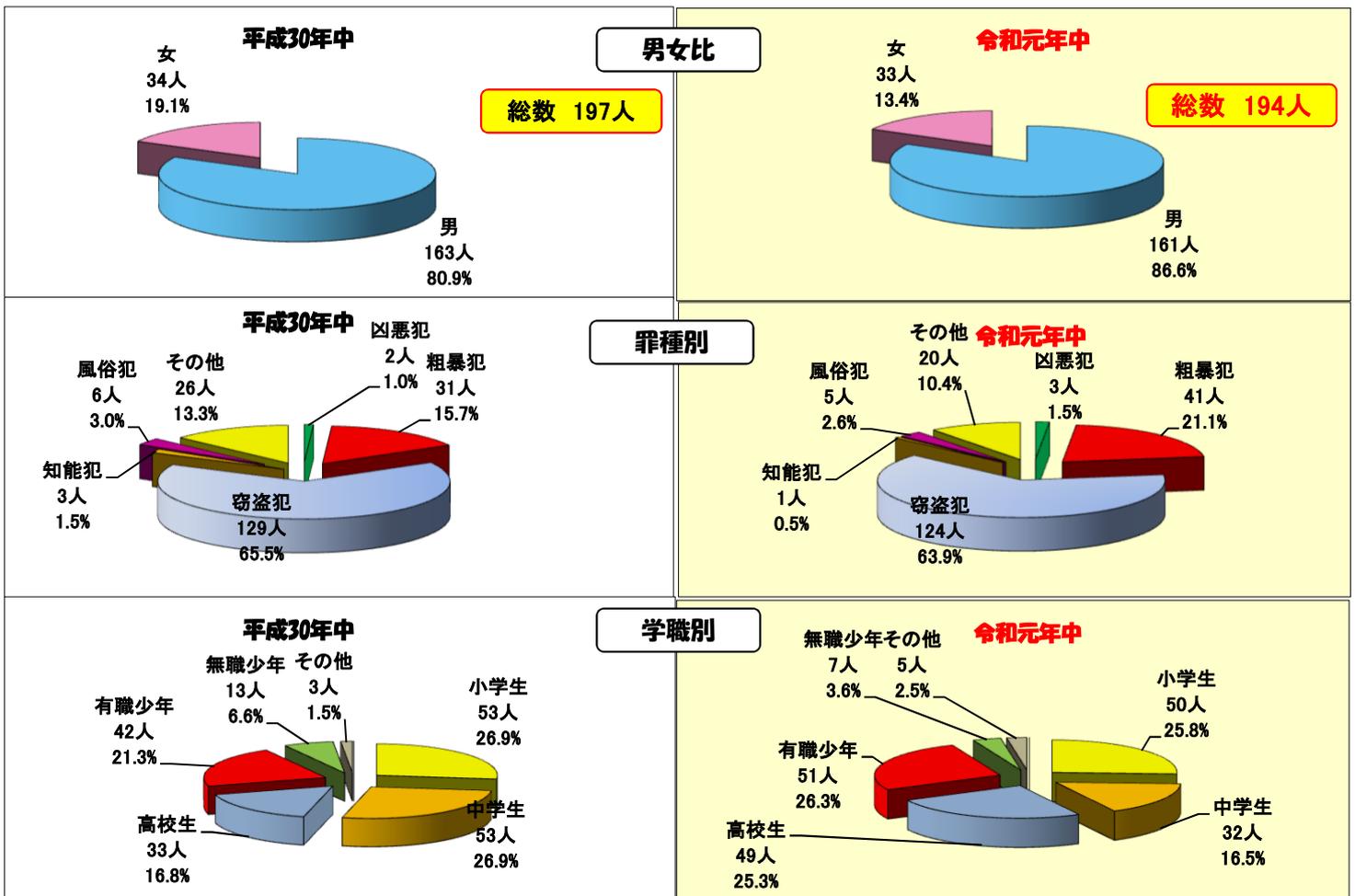
刑法犯少年の検挙・補導人員は、統計が残る昭和26年以降最少となった。

刑法犯少年検挙・補導人員の年別推移



※ 刑法犯少年検挙数は犯罪少年（14歳以上20歳未満）と触法少年（14歳未満）の合計です

刑法犯少年の推移



特徴

- 男女別の比率については、男性が86.6%を占める。
- 罪種別については、窃盗犯が最も多く、次いで粗暴犯等の順となっている。
- 学職別については、有職少年が最も多く、次いで小学生が多い。

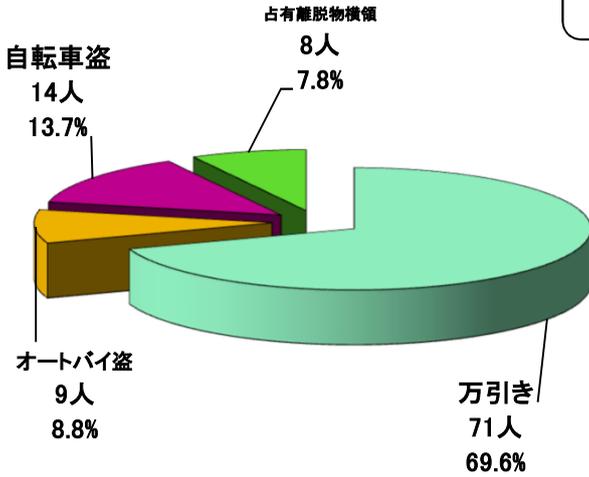
初発型非行(万引き・オートバイ盗・自転車盗・占有離脱物横領)の状況

※ 初発型非行とは、初期段階の少年非行といわれる万引き、オートバイ盗、自転車盗、占有離脱物横領をいう。

初発型非行：平成30年中

総数 102人

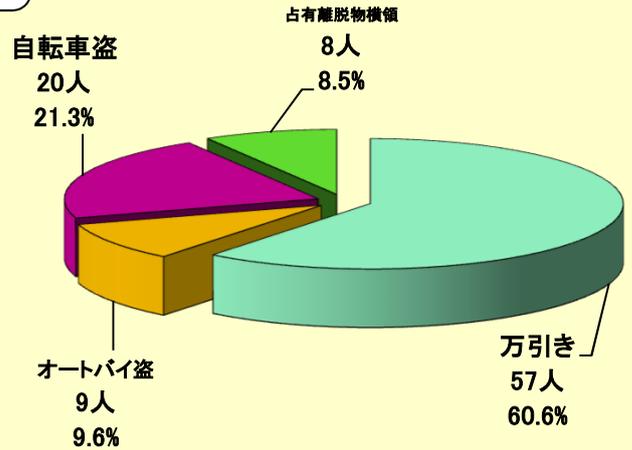
罪種別



※全体の69.6%が万引きである。

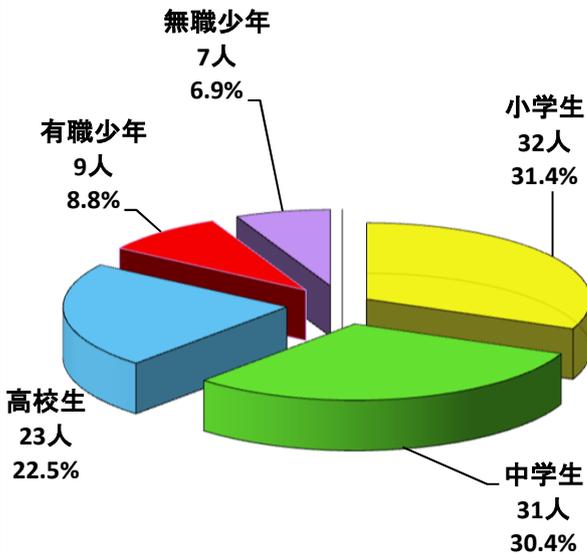
初発型非行：令和元年中

総数 94人

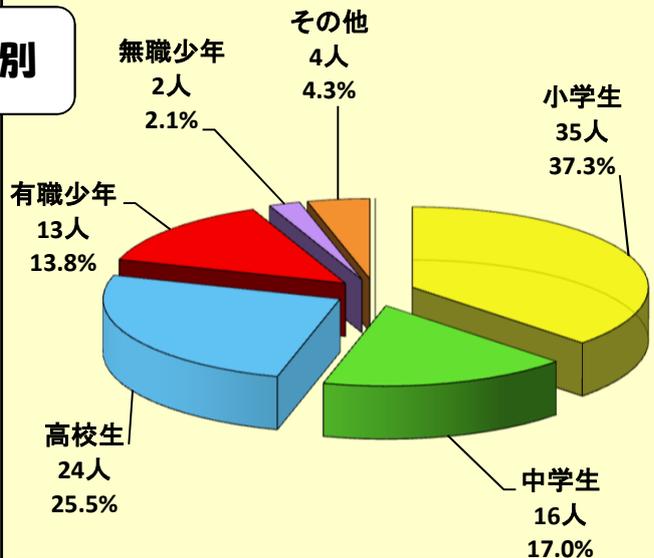


※全体の60.6%が万引きである。

学職別



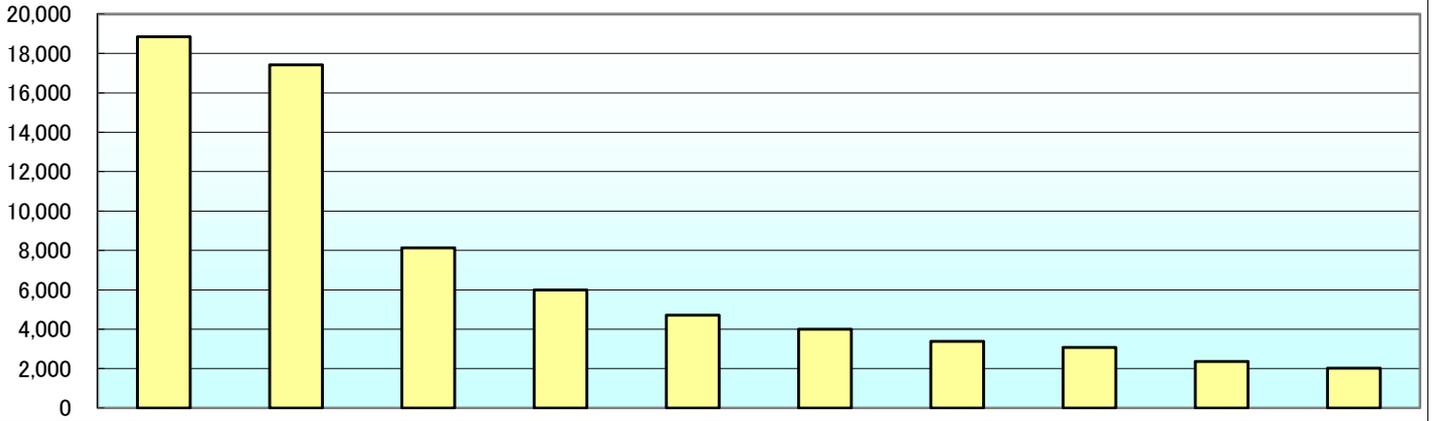
※小・中・高校生で全体の84.0%を占める。



※小・中・高校生で全体の79.8%を占める。

不良行為少年の補導人員の推移

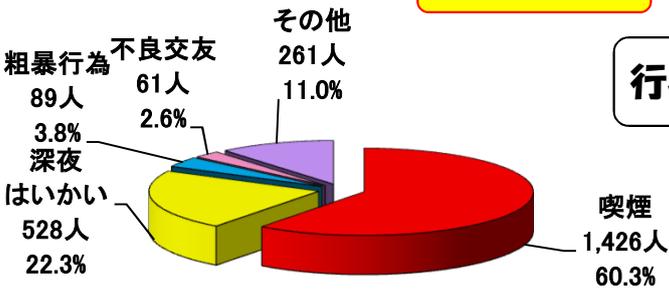
補導人員年別推移



| | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 |
|------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 補導人員 | 18,844 | 17,423 | 8,134 | 5,999 | 4,704 | 3,998 | 3,376 | 3,081 | 2,365 | 2,018 |

補導人員：平成30年中

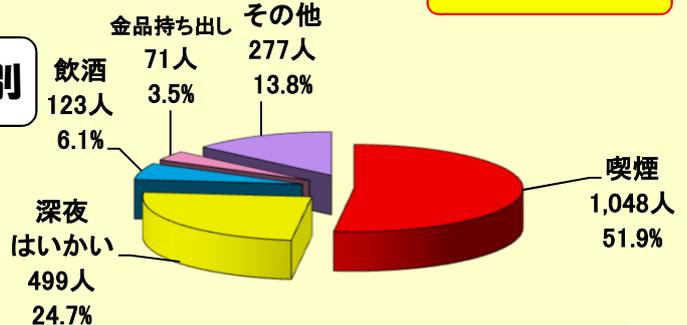
総数 2,365人



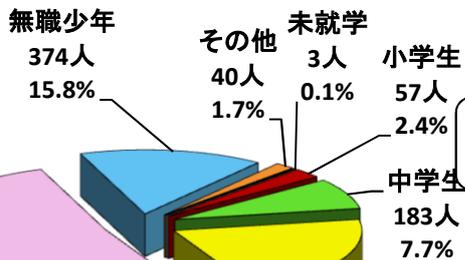
※ 喫煙と深夜はいかいで82.6%を占める。

補導人員：令和元年中

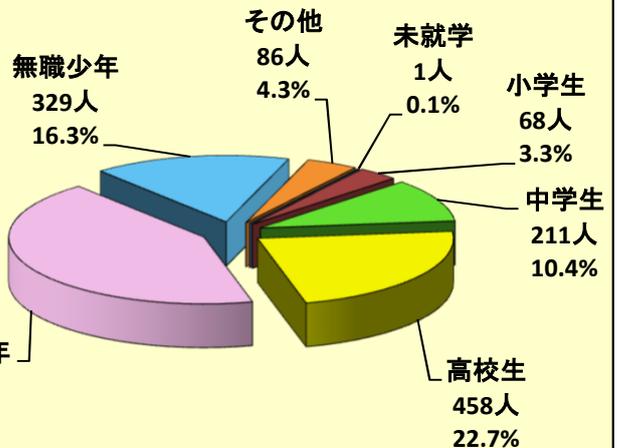
総数 2,018人



※ 喫煙と深夜はいかいで76.7%を占める。



※ 有職少年が全体の51.5%を占める。



※ 有職少年が全体の42.9%を占める。